

暑い夏ほど 熱く燃えた

猛暑が厳しかった今年の夏。その「暑さ」以上に「熱い夏祭り」が市内各地で開催されました。熱く燃えた今年の夏祭りの様子を写真集でまとめました(29、31ページ)。



歩行者天国となった大通り商店街で行われた神輿渡御。威勢の良い担ぎ手の声がお祭り広場に響き渡り、祭りを盛り上げました(佐沼夏まつり)

石越

復興ゆめパンダがチャチャに



▲みんなに触ってもらって幸せを分け合うパンダです

おっきいね。さわれたよ

「東日本復興ゆめパンダ」が8月1日から18日までの18日間、チャチャワールドいしこしにやってきました。ゆめパンダは、ジャイアントパンダの複製で、仙台市宮城野区在住の獣医師の方が所有しているものです。東日本大震災の後、子どもたちを励ますため、沿岸部を中心に復興イベントなどで展示されています。大きさは、体長約180cm、高さ約80cmで、プラスチック製のケースに入っていて、後ろ足の部分にある小窓から触れることができます。パンダに触れた人には記念として「ふれあい認定証」がプレゼントされました。

非常時でもおいしいご飯

「親子防災クッキング」が7月4日、南方小学校で開催され、2年生の親子26組が参加しました。震災で、電気や水などのライフラインが約1週間にわたりストップしたことを教訓に、この日は少量の水で簡単にできるポリ袋調理に挑戦しました。子どもたちは慣れない手つきでお米をといだり野菜を切ったりしていましたが、30分後にはおいしいカレーライスが完成。あらかじめ皿にラップを巻いて、皿洗いの水も節約しました。参加者は「ポリ袋で調理できるか不安でしたが、おいしくてびっくり。非常時に生かしたい」と笑顔でした。

親子で防災クッキングに挑戦

南方



▲ポリ袋に米と水を入れ、米とぎに挑戦

津山

青少年のための市民集会



▲家族の大切さを書いた作文を発表する須藤好生君

犯罪のない明るい社会を

青少年を非行から守り、学校、家庭、地域が一体となって犯罪のない明るい社会をつくることを目指す「青少年のための登米市民会議津山支部市民集会」が、7月6日に津山公民館で開催されました。集会では、平成24年度「明るい家庭づくり作文コンクール」で最優秀賞を受賞した津山中1年の須藤好生君(当時柳津小6年)と横山小2年の佐藤裕之介君(当時同小1年)が作品を発表。何気ない日常生活の中から感じた家族の大切さ、感謝の思いを述べました。また、参加者たちで大会の趣旨を確認し、大会宣言が行われました。